



**2017年度 年主題〈愛されて育つ〉**

**0・1・2歳児12月主題 「うれしい」**  
月のねがい  
◎クリスマスの雰囲気を楽しみながら、イエス様のお誕生を喜ぶ  
◎保育者に見守られながら、身の回りのことを自分でしようとする  
◎冬の自然に触れ、寒い冬でも元気に遊ぶ  
◎クリスマスの雰囲気を感じる

**3・4・5歳児12月主題 「賛美」**  
月のねがい  
◎クリスマスの意味を知り、楽しみに待ち祝う  
◎心を合わせて喜びや感謝を表現する  
◎社会や世界の出来事に関心をもち、自分たちでできることを考える



**みんなで創るクリスマス会**

風が冷たくなり、あっという間に冬になりましたね。11月から体育館や玄関、保育室のいたるところが、少しずつクリスマスの色に染まってきました。そんな変化に気づき心を弾ませてクリスマス気分のお友だちです。

めいろうこども園のクリスマス会は、赤ちゃんから年長さんのみんなで世界の始まりからイエス様お誕生を演じます。みんなで1つのものを作りあげるためには演じることはもちろん、待つことも必要だったり、小さい子どもたちにとっては雰囲気や衣装に慣れていくのも大切なことです。1歳児はペアになるお兄ちゃんと自由遊びの時間に手を繋いで遊んだり、礼拝にも参加して全体の雰囲気に慣れていけるようにしていただきました。衣装の帽子を嫌がる子がいると聞いて、自分でどの帽子がいいか選ばせて、うまく被ることに成功。ほかのクラスの先生たちに「かっこいい!!」「似合ってる!」と声を掛けられ、とても嬉しそうなお顔を浮かべていました。

年長児と年中児はセリフや動きなど覚えることがいっぱい。役になりきり、どんな気持ちでセリフを言ったらいのかな?と先生に問いかけられ、自分たちで考えお稽古に臨む姿はやはりお兄ちゃん、お姉ちゃんだなあと感じました。



クリスマス会のお稽古を通して、さらに心も体もぐーんと成長したように感じます。その喜びを子どもたちと感じながら残りの2学期も楽しく過ごしていきたいと思います。

大河

**今月の聖句**

「今日ダビデの街で、あなた方のために、救い主がお生まれになりました。」

ルカ2:11

12月は「師走」と呼ばれ、あれこれと忙しい月です。「忙」の字は心と亡ぼすの合意語です。忙しいことは心に余裕がなくなり、うっかりすると心が亡びます。心しましよ。

12月はまた、クリスマスの月でもあります。クリスチャンでなくても、家庭で子どもたちと一緒にクリスマスを祝う方が増えています。クリスマスには「メリー・クリスマス」という挨拶を交わします。このcongratulation「クリスマスおめでとう」の意味。正月に「おめでとう」の挨拶を交わすのに似ています。では、何がめでたいのでしょうか。

第一、「おめでとう」は英語でコングラチュレーション(あなたに恵みがある)の意味です。第二は「あなたの救い主」がおいでになったことです。「救い」とはキリストさまが現世も来世も平安と感謝で過ごせるよう導いてくださるから「めでたい」のです。私たちが例外なく持っている問題は「人間の罪」です。自己中心という罪。この罪をキリストさまがゆるし、あなたを天国(神の家族)に導いてくださいます。

第三は新しい国の完成です。人間は国をつくり、政治という手段を通して人のために奉仕する建前を持っています。しかし、それは表向き。実際は欠陥だらけ。不平等、不正、災害、戦争、恐怖等々。

キリストさまだけは人をうらぎらない。平和で公平な霊的国を建設し、あなたを迎えてくださいます。

前理事長 池田公栄



例年の如く、あれやこれやで日々追われているうちに、いつの間にか年の瀬という言葉が聞こえてくるようになってきました。今年も、共にクリスマスを迎えることができて、大いに感謝です。日本語の「贈り物」を表わす英語には二つあるようです。一つはプレゼント、そしてもう一つはギフトです。プレゼントとギフトはどちらかというのでしょうか。違いは関係や立場によるようです。どちらかというのでしょうか。違いは関係や立場によるようです。どちらかというのでしょうか。違いは関係や立場によるようです。...

**12月の行事予定**

2日(土)	クリスマス会(17:00~)
7日(木)	ふれあい遊び
5日(火)	もちつき大会
12日(火)	12月誕生会
19日(火)	弁当日
20日(水)	クリスマスバイキング
21日(木)	終園式(1号:午前保育)
28日(木)	御用納め(弁当日)

**1月の行事予定**

9日(火)	3学期始園式(1号:午前保育)
10日(水)	ふれあいあそび
18日(木)	おゆうぎ会予行 ※弁当日
27日(土)	おゆうぎ会
29日(月)	1号振替休日(2・3号希望者)
30日(火)	1月生まれ誕生会
31日(水)	持久走大会試走

**1号認定児 入園申込み受付開始**  
12月1日(金)  
ご紹介を何卒宜しくお願いします!



**小さき者への賜物 クリスマス**

今井和子先生の「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」より「1歳児 何をしてもイヤイヤ」

**悩み** 何をしてもイヤイヤで どう接したらいいのか?

**対応法** お互いに折り合えるところで約束をする

この時期は、他者とぶつかりあい、自分の思っていることと大人の思っていることが違うことに気づくことが大切。また自分の要求が常に通るわけではないことを学ぶチャンスです。信頼できる大人とぶつかりあい、人との葛藤を切り抜けたことを知っていきます。かといって、自我が芽生えてきた子どもに、「そんなこといっちゃダメよ」とか、「ちゃんということ聞きなさい」と、一方的に叱ると、単なる親子戦争で終わってしまい、せっかく芽生えてきた自我の芽を摘み取ってしまいます。まずはイヤイヤを受け止め、頭から否定しないで、なぜイヤなのかを理解しましょう。

たとえば、「ごはんまだ食べたくないんだ。パズルがやりたいんだね」といった具合に、子どもの気持ちを代わりに言葉で表現してあげましょう。そのうえで、「でも、お母さんは時間が遅くなっちゃうから、もう食べてほしい。これだけやったら、食べようね」と、親の考えを伝えます。子どもは要求が通らなくても、ひとりの人間として尊重されている、気持ちがわかってもらえている、と伝われば、我慢できるようになっていきます。

自己主張や長泣きはわがままではなく、混乱しているだけなので、「困っているのね。どうしていいかわからなくなってしまったのね」と、大人が待ってあげれば、気持ちが収まってまわりの状況が見られるようになります。折り合いをつけることは=会話をすること、のはじまりです。親の考えをちゃんと伝えていくことで、人の気持ちを大切にしよう、という心も育っていきます。

